

日本鉄道シンポジウム／InnoRail 2016 @RDSO スタジアムグラウンド(インド・ラクナウ)



12月1日～3日 UP州ラクノーでの鉄道展に東大がブース参加しました



●主催● 東京大学インド事務所

●協力大学● 立命館大インド事務所

●資料参加大学●

京都大学、九州大学、慶応義塾大学、  
埼玉大学、筑波大学、東京工業大学、  
東北大学、長岡技術科学大学、  
名古屋大学、北海道大学、早稲田大学

●来場者数●

12/1(木) 約30名、  
12/2(金) 約100名以上  
12/3(土) 約50人

●主な来場者●

鉄道省 RDSO 関係者、  
地元の学生(小中高大)、  
出展鉄道関係者、京都大学、  
企業関係者、他

初日 12 月 1 日はラクノーマトロ試運転開始日と重なり、地元市民の鉄道への関心が最高潮となりました。当展覧会での大学ブースは当方が唯一の存在であり、何故大学がいるのか？との素朴な質問を受けるなど、存在をアピールできたという印象です。

初日開催された日本鉄道セミナーは満員御礼でした。午前は開会式典があり、RDSO:インド鉄道省研究設計標準機構(Research, Designs and Standards Organization) トップが歓迎の辞、平松在インド日本国大使と国土交通省田端審議官のスピーチ、鉄道大臣がTV会議で参加し、日本がアピールされました。午後はJR東日本、日立製作所、三菱電機、川崎重工を始めとする日本企業による新幹線プレゼンで盛り上がりました。特に、川崎重工・村生営業本部長・理事より新幹線車両現地生産提案「インドにおける高速鉄道車両の現地生産化の概要」に注目が集まりました。

国土交通省傘下の交通安全環境研究所(4名)と鉄道総合技術研究所(5名)もブース参加しアピールされました。交通安全環境研究所のブースでは、東大の水間特任教授(今年10月1日御着任)がご対応されました。水間教授は今年10月1日教授に着任され柏キャンパスで交通システム工学を開講されたばかりです。

<水間先生のHP: <http://www.l-transport.k.u-tokyo.ac.jp/> >